

練馬区みどりの基本計画改定の間まとめ 「みどり施策の新たな考え方」 案について

みどりの基本計画改定の背景

みどりの現状

- 緑被率は23区で**第1位**だが、**減少傾向**
- 約75%**が**私有地**のみどり
- 公共のみどりは増加しているが、農地や宅地のみどりが減り続けている

上位計画等

- 「みどりの風吹くまちビジョン」および「アクションプラン」において、みどりの総量だけでなく、**質や区民実感にも着目**したみどり施策を検討することとしている

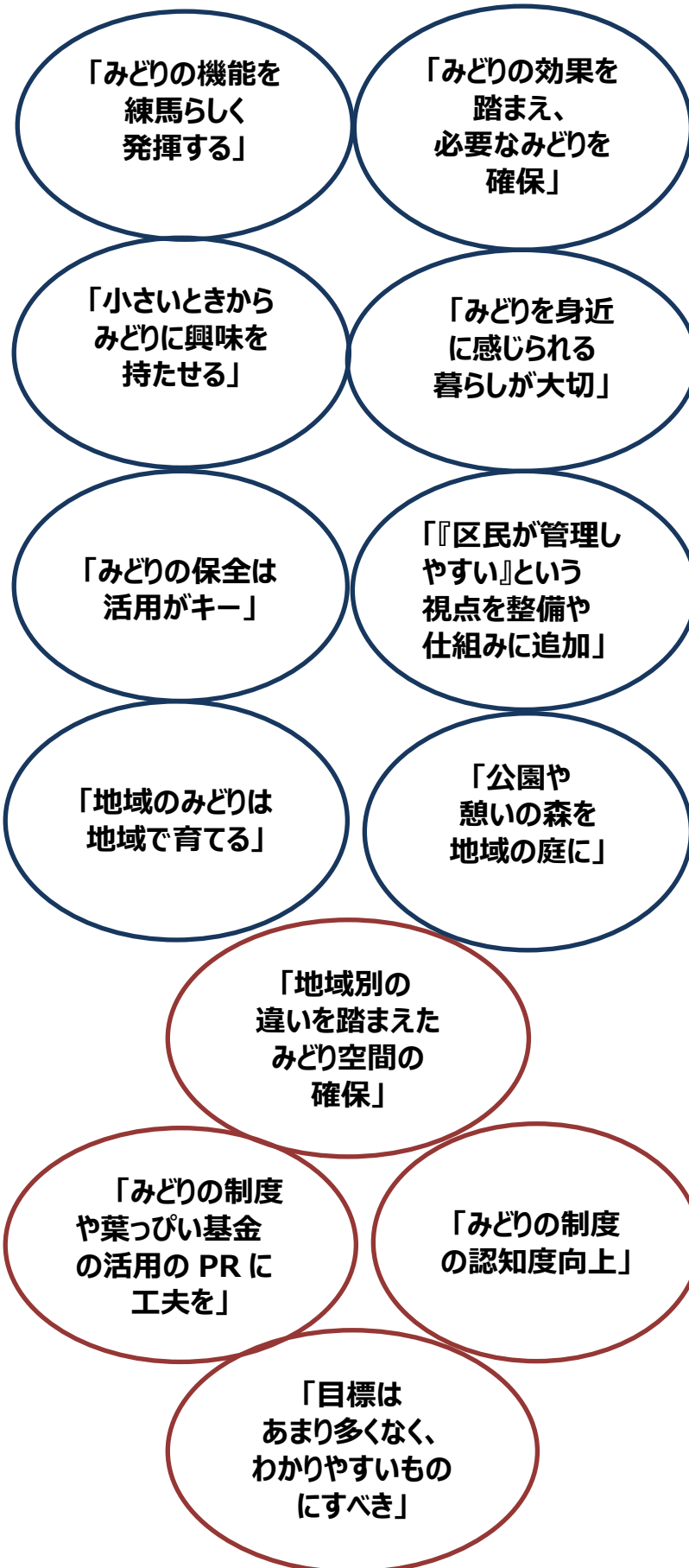
国の動向

- 緑被率の増加≠みどりの機能増大**
- 一人あたりの公園面積は指標として限界
- 環境改善とQOL(生活の質)の向上に資するみどりを増やす計画とする

みどり施策の課題

- 緑被率30%**という目標は、**現実的に達成困難**
- きめ細やかなみどりの管理は、行政だけでは担いきれない**
- 私有地のみどりは、維持管理の負担や相続が原因で減り続けている**

緑化委員会/みどりの区民会議/区政モニターの意見



みどりの基本計画 改定に向けた考え方

将来像の考え方

- ① **みどりの総量の確保を目的化せず、公園や街路樹、樹林地、農地といった多様なみどりが、十分に機能を発揮できるように確保する**
- ② **区民がみどりを身近に感じ、みどりへの愛着が深まるように、区民による多様なみどりの利活用を推進する**
- ③ **公共のみどりに係る区と区民の協働に加え、みどりを介した区民同士の交流を促進し、地域のみどりを育てるコミュニティを広げる**

推進手法の考え方

- ① **地域のみどり特性を踏まえた地域別方針を策定する**
- ② **みどりの魅力を効果的に発信する**
- ③ **みどりの機能に着目し、施策体系に即した指標と目標値の設定を行う**

